

ときめき人

Tokimeki bito

地域の歴史や文化を後世へ



おもてなしの心で、誠意あるガイドを目指す

米川ガイドの会

(中央)後藤榮会長

「豊富な知識がなくても、おもてなしの心を持って誠意あるガイドができれば」と笑顔で話す後藤榮会長。本年4月、東和町米川地域に「米川ガイドの会」が発足した。会員は、地元住民を中心に20～70歳代の20人ほど。米川で開かれるイベントなどで地域の歴史や文化を紹介している。

後藤会長は以前、市のおもてなし推進委員として同様の活動をしていたが、今年の「米川の水かぶり」で地域おこし協力隊が企画した「米川ボランティアガイド」として活動。その後、協力隊を含む有志らとともに、組織として設立した。

地域行事はそのエリアの人たちが、使命感を持ち開催してきたが、過疎化に伴う後継者不足が課題だった。行事の由来を知る人も少なくなってきた今、廃れてしまわないように、地域の枠を超えて組織的に対応し、それぞれの行事や祭りを支援したり、情報発信をして観光客を呼び込んだりできる場を目指す。これまでに華足寺例大祭やキリシタンの里まつりなどでのガイド、史跡周辺の環境整備や研修会で地域の魅力を再確認して共有している。

「継承していくことは、そこに住む人の使命だと思います。その意味では地域の歴史、文化を子や孫に伝えることが第一歩かもしれません。観光分野は華やかに見えて、受け入れ側は地道な努力の連続。設立したての会ですが、裾野を広げ、後世へつないでいければ」。地域ガイド、後世への継承、情報発信。新たな地域づくり活動が米川で始まった。

▼剣道を通じて互いに理解し合い、人間的な向上を図るという意味の「交剣知愛」。名生さんを取材した時に教えていただいた言葉です。中総体では、違う学校の生徒たちが笑顔で話す姿が。技術や体力の向上も大切ですが、スポーツを通じて得る人とのつながりが大きな財産になるのでしょうか。(高橋)

編集後記

▼ときめき人で「米川ガイドの会」を取材。ユネスコ無形文化遺産登録を機に地域を活性化させていこうと取り組む姿が印象的でした。全国的に地域の持ち味を生かした観光が脚光を浴びています。時機を逃さず、団結して動ける地域は強く、時代が求めている活動だと感じました。(小野寺)

▼最近、テレビなどで、毎日のように災害のニュースを目にします。6月からは、河川災害に警戒レベルが導入されました。災害時は、一人一人が「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、高齢者は特に早めの行動を心掛けることが大切だと改めて感じました。(三浦)

登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>

